第五回日本シムトラ学会

SimutransのコンパイルをWindows Subsystem for Linuxで

廉(Ren)（@osukoke）

１． まえがき

Simutrans本体開発では、様々なコンパイル環境が用いられていると思われる。しかし、環境によっては特殊なコマンドを用いることや、困った際の情報が少ない、情報が多い各種Linux系ディストリビューション（以後Linuxと省略）環境は作成までの難易度が比較的高いということが考えられる。

当発表では、Windows10の大型アップデートにより（CUI環境のみではあるが）Linuxがアプリとして比較的手軽に利用出来るようになった事を踏まえ、このアプリを用いた開発環境構築方法を解説する。  
なお、当スライドではWindows上でSimutransを実行できるようクロスコンパイル環境の構築となる。

2 ．このスライドで出来るようになること

* Windows Subsystem for Linux（略称WSL）のセットアップ
* 各種Linuxのストアからのインストール
* Simutransのクロスコンパイル用環境の構築

また、WSLセットアップとLinuxインストールによりシェルスクリプト（Windowsでいうbatファイル）が利用可能になるため、人によっては自動pak化シェルスクリプトを作成できるようになる。

3. 必要環境

* Windows 10 バージョン1709(Build 16299)以降
* ネットワーク環境
  + Microsoft Storeでの本体ダウンロードと、WSL更新（aptコマンド）で使用します

１． Introduction

2．